

2011年度

科目名	病院実習			
担当教員	小川 雅史、小西 廣己、名徳 倫明、上島 秀樹、初田 泰敏、 廣谷 芳彦、西井 諭司			
配当	薬科5		コード	80288
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数 10
授業テーマ	【必修】病院薬剤師の業務と責任を理解し、チーム医療に参画できるようになるために、調剤および製剤、服薬指導などの薬剤師業務に関する基本的知識、技能、態度を修得する。			
目的と概要	1 病院薬剤師の業務を理解し、調剤、製剤、服薬指導などの薬剤師業務の基本を修得する。 2 医療現場での実習を通して、医療人としての倫理観と責任感を培う。			
成績評価法	実習態度や実習到達度などを参考にした実務実習指導薬剤師の評価をもとに実務実習委員会が総合的に評価し、可否を判定する。			
テキスト	病院・薬局実務実習近畿地区調整機構監修 2011年版薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト(じほう)			
参考書	スタンダード薬学シリーズ11 「病院・薬局実務実習Ⅰ・Ⅱ」日本薬学会など編/東京化学同人			
履修に当たっての注意・助言/準備学習	社会人としての常識とコミュニケーション能力は必須。11週間の実習中は実務実習指導薬剤師の指導により病院実習を行う。日々の実務実習記録を指定の様式に沿って記録する。各週の土曜日は原則登校し、担当教員に報告する。			
講義計画				
病院薬剤部（病院薬局）の実務実習指導薬剤師の指導監督の元、以下の6項目についての基本的な知識、技能、態度の修得を目標に11週間、病院薬剤部（病院薬局）で実習を行う。 （1）病院調剤を実践する：病院において調剤を通して患者に最善の医療を提供するために、調剤、医薬品の適正な使用ならびにリスクマネジメントに関連する基本的知識、技能、態度を修得する。 （2）医薬品を動かす・確保する：医薬品を正確かつ円滑に供給し、その品質を確保するために、医薬品の管理、供給、保存に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。 （3）情報を正しく使う：医薬品の適正使用に必要な情報を提供できるようになるために、薬剤部門における医薬品情報管理（DI）業務に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。 （4）ベッドサイドで学ぶ：入院患者に有効性と安全性の高い薬物治療を提供するために、薬剤師病棟業務の基本的知識、技能、態度を修得する。 （5）薬剤を造る・調べる：患者個々の状況に応じた適切な剤形の医薬品を提供するため、院内製剤の必要性を認識し、院内製剤の調製ならびにそれらの試験に必要とされる基本的知識、技能、態度を修得する。 （6）医療人としての薬剤師：常に患者の存在を念頭におき、倫理観を持ち、かつ責任感のある薬剤師となるために、医療の担い手としてふさわしい態度を修得する。				